

東金市都市計画審議会会議録

日 時 平成27年2月3日（火曜日） 午前9時55分から午後12時05分まで
場 所 東金市役所 第一委員会室
出席者

【委員】 倉林委員（城西国際大学教授）
川野委員（東金市農業委員会会長）
古川委員（東金商工会議所会頭）
神定委員（東金市観光協会会長）
石橋委員（両総土地改良区副理事長）
布留川委員（東金市消防団長）
増田委員（建築士・千葉工業大学非常勤講師）
塚瀬委員（東金市議会副議長）
斉藤委員（東金市議会総務常任委員長）
清宮委員（東金市議会文教厚生常任委員長）
小倉委員（東金市議会建設経済常任委員長）
大湊委員（千葉県山武土木事務所長）
三須委員（東金市区長会連合会会長）
伊東委員（東金市民生児童員主任児童員）
（以上14名）

【事務局】 志賀市長・椎名建設経済部長
（都市整備課）稗田課長・遠山副課長・馬場副主幹・浅井主査補

議 案

- ①会長及び副会長の選任について
- ②都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（区域マスタープラン）の変更に係る申し出（案）について

議 事

稗田課長の司会進行により開会する。

志賀市長の挨拶の後、審議会委員及び事務局職員の紹介を行う。

17名の委員のうち委員半数以上の14名が出席しており、東金市都市計画審議会条例（以下、条例という。）第5条第2項の規定を満足しており、審議会が成立していることを報告する。

現在、委員の改選により会長・副会長2名が空席となっており、委員の互選により古川氏が会長に選出される。

副会長の選出については、条例第4条第3項の規定により会長が指名することとなっており、古川会長より石田委員と三須委員の2名が指名され、会長より挨拶があった。

議事進行にあたり、条例第5条第1項の規定により、会長に会議の議長をお願いする。

古川会長より、議事録署名人が選出され塚瀬委員と小倉委員が指名される。

議事（２）

- 【議 長】 それでは議事（２）について、事務局から説明してください。
- 【事 務 局】 ≪概要説明：稗田課長≫
≪詳細説明：馬場副主幹≫
- 【議 長】 ただいまの説明についてご質問がありましたらお願いします。
- 【斉藤委員】 資料を突然渡され、事前に質問を作れませんでしたので、自由に発言させて頂いて、議論させて頂きたい。また、回数などを制限しないで頂きたい。
- 【議 長】 斉藤議員から意見ありましたが、次回より資料の事前配布をお願いしたい。
- 【斉藤委員】 都市計画ということで、一番基本となるのは人口構造だと思っています。資料 P.4 で県の示す人口フレームが出ておりますけれども、県総人口 617 万 2 千人（H37）とありますが、現在人口及び東金市はどのようになっているのか。
- 【事 務 局】 617 万 2 千人につきましては、千葉県総合計画「輝け！ちば元気プラン」の中で平成 37 年の人口として位置付けがされています。こちらは、平成 21 年 10 月の常住人口を基準にして推計された資料となっており、平成 22 年に実施された国勢調査による修正がされ、平成 22 年 620 万 3 千人からの下方修正となっております。
- 将来の人口フレームが示されている中で、千葉県においては近郊整備地帯である千葉市をはじめとした線引き市町では 528 万 4 千人、非線引きの都市計画 88 万 8 千人、東金市は非線引き市町村に含まれており、東金市の人口としては平成 37 年では 61,000 人が示されており、東金市の第 3 期基本計画とは概ね同様の推計となっております。
- 【斉藤委員】 東金市総合計画とここで示されている現状の人口 6 万人と計画の整合性がとれていないと思いますが、いかがですか。
- 【事 務 局】 東金市第 3 期基本計画では東金市の将来人口が平成 32 年で 75,000 人となっております。今回提示させていただいた 10 年後という形の中では乖離致しております。ここで示した推計目標として 61,000 人は現状に近い数値だと考えております。基本計画での平成 32 年の 75,000 人につきましては将来を見通して、将来これを目標に向かって東金市が進んで行こうという形で掲げている数値でありまして、実際全体的に 75,000 人に対する施策ができるということではございませんで、あくまでできるだけ多くの人口に対する施策を進めていくとした中で、計画の目標を立てています。総合計画見直しの中では、新しい数値ができてくると考えております。
- 【斉藤委員】 東金市の計画全てをこれに合わせていくとのことか。
- 【事 務 局】 これに合わせていくということではなく、現在行っている見直しにつきましては全体の将来像に合わせた計画を立てておくとしております。この目標に関しましては総合計画で取り入れられるように計画を定めておくということで、数値については整合がとれていませんが、東金市の目標に沿った形で計画を立てておきたいと考えております。
- 【斉藤委員】 全体がまとまっていないと、農業計画等の計画との整合性が図れなくなってくる。これはこれ、あれはあれと言うのは今までの行政であり、そういう時代は終わっている。東金市一丸となってどのように進めるかというのは、これが正式なものであるのならば、総合計画も併せていくべきであり、都市計画は都市計画、総合計画は総合計画という話では議論できる話ではない。清宮委員が議会で質問したが裏付けとなるものはありませんとの回答だったはずである。75,000 人で進むのであれば、75,000 人の前提で都市計画を定めていくべきである。総合計画は重要なものであり、違うものであるのならば審議できるものではない。

- 【事務局】 基本的には県のフレーム人口が平成 37 年で 61,000 人となっており、第 3 期基本計画が平成 27 年度で最終年度となり、第 4 期基本計画を平成 27 年度中に策定することで進めております。県より示されている 61,000 人もある程度参考としながら、東金市は東金市独自の計画があっても良いと思うが、県が示している人口と整合がとれるような形で東金市のまちづくりも推進すべきと判断しており、第 4 期基本計画の中で整合性を図っていきたいと考えております。
- 【斉藤委員】 総合計画を 61,000 人ベースに修正していくということか。
- 【事務局】 基本的にはそのような議論もあろうかと思いますが、東金市は東金市のまちづくりの方針がございますので、必ずしも千葉県が示しております人口フレーム 61,000 人に当てはめるといった最終的な整合性は取らなくてもよいのではないかと考えております。
- 【斉藤委員】 東金市都市計画審議会となっており、我々が出した資料が千葉県に行って東金市がこのように出してきたと言われるのではないか。
- 【事務局】 今回の東金都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の見直しとなります。議論となっております人口フレームは千葉県の方で定めております。ただし、施策の部分である土地利用等はそれぞれの市町村に任せられており、審議会で意見を頂ければ、その意見を踏まえて千葉県へ東金市として申し出を行っていきたいと考えております。
- 【議長】 整合性をもって進めていただきたい。
- 【布留川委員】 河川改修も入っておりますが、昔、田であったところも現在では市街地となるところもあり、排水と用水が一緒になっていたり、雨水排水が途中で止まっており、下流の用水に流れなくなっているところもある。それが原因で、道路冠水等の災害も発生している。雨水であれば用水に流れても構わないと思いますが、それについての取り組みはなされるのか。
- また、コンパクトなまちづくりということですが、防災会議でも提案していますが、防火帯を設けた方が良いのではないかと。防災関係で言うと、九十九里からの避難道路も含めて幅員の広い道路を防火帯とするのが良いとの考え方や、11m の建物を長く作って防火帯とするとの考え方もあり、そこに行政機関等を集約できれば良いのかなと考えますが、そのような考え方もお持ちか伺いたい。
- 【事務局】 河川改修につきまして資料 P.11 の 10 年後の河川整備目標ですが、河川法に基づく河川について記載しております。真亀川は引き続き整備していき、準用河川である小野川についても順次整備を進めていくこととしております。それ以外の用水や排水は、管理するセクションで整備を行ってまいります。雨水を下流である用水への放流などにつきましては、区域マスで定めるのではなく、排水マスタープラン等による整備を進めていくこととなります。
- 防火帯につきまして、資料 P.8 の都市計画道路、災害対応道路等を順次整備して災害時に備えたいとして都市計画に定めさせて頂いております。個々の整備につきましては、各々の計画の中で進めていくこととなります。建物につきましても耐震性のある建物に替えていくと記載しておりますが、詳細な部分までは記載しておりません。
- 【清宮委員】 資料 P.6.イ及び P.7②イである IC 周辺地区では産業集積・企業誘致とありますが、既に圏央道は開通しているが、具体の施策は進めているのか。
- 【事務局】 今まで IC 周辺は千葉東テクノグリーンパークという工業団地の促進を図るということのみでありましたが、今回の計画では IC 周辺含めて大きなインパクトがあるとのことで工業団地のみでなく、周辺部においても産業展開の受け皿作りを進めていく。これにつきましては、企業誘致条例もございますので、市が率先してやるという部分

のみでなく、民間企業も含めて対応していきたいと考えております。

【清宮委員】 ICは既にできていますので、具体的取組みを進めて頂きたい。

【清宮委員】 資料 P.8 スマート IC と SA について、圏央道の木更津～大栄の間で5箇所スマート IC を認めるとの話もあり、手を挙げている自治体も多く、その中でも3つほどは内定しており、その1つは大綱が確定との話もある。仮に大綱にできた場合、源地区に設置するには距離が近いと思うが可能なのか。

資料 P.9「公共交通施設の相互連携させる乗り継ぎ拠点の創出」とは具体的な内容は。デマンド型タクシーの乗り継ぎ拠点については議会でも質問させて頂いたが、山武市、大網白里市との連携ができておらず、今後の課題だと市長から答弁を頂いたところですが、P.9 台方季美の森線も議会で質問させて頂いたが、計画はあるが50億円程度かかるため難しいとの答弁を頂いているが、どのように考えているか。

【事務局】 交通施設の基本方針の中でスマート IC と SA の設置を記載させて頂いておりますが、圏央道の効果を最大限活用していきたいと考えており、源地区における活性化に繋がっていくと考えております。路線の中で既に手を挙げているところもあり、近辺では大綱で IC 設置を進めているとのことですが、大綱から近いという意見もありますが、東金市と致しましては北部の活性化を図っていく上では必要であると同時に、スマート IC と SA を含めていくことでより活性化に繋がっていくということで記載させて頂いております。県へ申し出案として提出させて頂きたいと考えております。

また、交通環境と言う中で、公共交通システムの相互連携の乗り継ぎ拠点ですが、高速バス等を見通してという形になりますが、いわゆるパーク&ライド等も東金市では必要となってくるであろうということで記載させて頂いております。圏央道も成田方面にも繋がっていきます。東金駅、高速インターを含めて2次交通への乗り換えが必要になってきますので、東金駅も含めて乗り継ぎ拠点を考えていきたい。

道路の整備目標である台方季美の森線実施がございまして、東金126号線と旧道の126号線から台方、田中を通りまして、テクノグリーンパークに向かっていく道路であります。これにつきましては都市計画決定されておまして、当然、市としても必要な道路として挙げさせて頂いております。実施については、詰めていきたいと考えております。

【清宮委員】 資料 P.14 東千葉メディカルセンターが工業用地ではなくなっていると思うが。

先日、高齢者の事業計画について会議がありまして、試案では東千葉メディカルセンターが高齢者支援を行っているとの記載もあったが、最終的には東千葉メディカルセンターの文言が計画から抜けてしまった。東金市は150億円の投資をしているのだから、民間で言う株主優待について全く記載されていないのはなぜか。

【事務局】 方針付図は市でも基本的に用途地域とは違うと認識しており、土地利用について方針の付図であるため、ご指摘を踏まえまして内容の方を再考させて頂きます。

参考資料 P.10 をお願いします。病院としては都市計画を受けている病院ではございませんので、施設関係の配置として記載はございません。都市の防災・減災に関する方針において、市の防災計画を含めまして東千葉メディカルセンターは医療の中心であり、防災の拠点となると認識しており、市の公共施設との連携の中で防災基盤の強化を図るということで、病院の位置付けを図っております。

【斎藤委員】 参考資料 P.15 に東金市公共下水道基本計画と記載があり、旧では平成27年度に面積が1,450haとあるが、新では平成36年に1,137haに縮小しているが、現状を含めて教えて頂きたい。

【事務局】 1450haより1137ha、福俵地区及び家徳地区が縮小しております。現状としては、全

体計画 1137ha に対して 800ha が供用開始されています。

【斉藤委員】 300ha 程増やすことになるが、議会の議論の中で非常に財政負担が重いという議論がされている。合併浄化槽との関係も議論されている。公共下水道 1137ha 整備するとされているが、都市計画の中では大事な部分であると思う。国も公共下水道、農業集落排水からできるだけ合併浄化槽への方向も示されていること、財政面も含めてどのように考えているか。

【事務局】 下水道については、旧計画では平成 27 年で 1450ha ですが、今回は福俵と家徳は合併浄化槽に切り替えることにより 1137ha に縮小しています。現在、全体計画ではこのように計画策定されております。

議会でも答弁しておりますが、公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽により処理しておりますが、今後は適切な汚水処理については千葉県が抜本的に見直しを行うとのことでありますので、現在下水道事業計画としての数値は記載しておりますが、県の見直し計画に準拠して、適正な汚水処理の方法で進めたいと考えております。

現在、東金市公共下水道基本計画に具体的数値を記載しておりますので、この数値を用いて平成 36 年値を記載させて頂いております。これが全てではなく、県の計画と合わせて、適切な汚水処理計画があれば見直しを進めていく予定ではありますが、現在はこの 1137ha を記載させて頂きたいと考えております。

【斉藤委員】 国・県などということですが、地方自治体でありますので、財政負担が非常に重いというのを嫌と言うほど感じてきた。東金市独自の処理方法が実現されるようにと思う。東金市公共下水道基本計画と言うのが新と旧にあるが、この違いは。

【事務局】 旧が平成 16 年 2 月に都市計画決定されたもので、新が今回見直しを進めている原案でございます。

東金市公共下水道基本計画につきましては、下水対策課において平成 21 年 3 月に基本計画の見直しを行っており、新旧対象表の旧である平成 16 年から新である今回の見直しの際に 1450ha から 1137ha に区域を縮小しています。

【増田委員】 質問させて頂きたいのですが、都市計画と言うのは土地利用の大枠を決めることからスタートしているのではないかと理解しております。審議会資料を見ると御苦労がわかります。この場で討論の対象となるのが、ハードからソフトまで織り交ざっている状況です。以前、市民のワークショップにも参加させて頂いたことがありますが、ワークショップで出てくるような市民の要望が入っている事柄の層が多層になっており、例えば民間を活用しなければならない列車増発、高速バスネットワーク、国が主動するような道路などもあります。この場で、審議することになりますが、一市民からすると、どのように市民の目に留まって、どこまでが目標値、どこから先は期待値とするのであれば、このような会議を経たなら、あまりにも理想だけを言っているのかどうかと思う。どういった形でリリースされ、どのように市民の目にとまり、どう受け取られるべきなのかという最終形を教えてください。

【事務局】 今回、方針につきましては千葉県全体の土地利用を定めていくこととなります。県全体を見た中の東金市部分のあり方について、決定させて頂いております。

市民目線となりますと、東金市のマスタープランにて策定することとなります。こちらは各地域の住民の皆様、各地区との意見交換を行いながら、東金市全体の計画を策定していくこととなります。

【増田委員】 ここでの審議は千葉県にのみあがるとのことによろしいか。

【事務局】 本日、審議頂いている内容は東金市の案として千葉県に申し出を行うこととなりますので、この内容について皆様に見て頂き、東金市として独自の視点で追加するような

内容・意見・修正等がございましたら、広域的な視点の中で最後は千葉県の判断になりますがその内容について必要な見直しをして千葉県へ申し出を行っていききたい。

- 【小倉委員】 10年前にも計画を策定していると思いますが、進捗率・評価はいかがか。
- 【事務局】 平成16年2月に都市計画決定させて頂いており、季美の森、東金台の日吉台地区について用途地域の拡大・地区計画の策定、求名駅前地区・丘の街地区について県内でも数少ない白地地域の地区計画を指定しております。また、道路につきましては圏央道の開通・国道126号の4車線化、河川は作田川、南白亀川等の改修が実施され、この計画に沿って関係機関、関係課において整備が進められております。
- 【小倉委員】 日吉台・季美の森は10年前には完了していたのではないのか。圏央道は開通しているが、10年前には東金市はどのように産業の育成を考えていたのか。10年後を見据えた計画をしっかりとていくべきで、しっかり精査して頂き、地域間競争に勝てるようにプランをたてていくべきである。
- 【事務局】 テクノグリーンパークは圏央道を見据えた中での事業であったが、横芝大栄間も早急な整備が進められている中で、ますます圏央道を活用した地域間競争が激しくなりますので、それを踏まえてテクノグリーンパーク周辺にも工業的な土地利用を図っていくこととした、地域間競争に負けないような見直しを行っております。
- 用途地域につきましては、開発完了後に用途地域の指定を行うとの千葉県との協議の中では地形地物が明確になった段階で指定するとのことでありました。10年間の実績を報告させて頂いたところであります。
- 【小倉委員】 日吉台にせよ、テクノグリーンパークにせよ、圏央道にせよ、これは先人の早野市長、野口市長の時のプランを引き続いてやっているようなものでしょ。これからやるのであれば、次世代の方が東金市を操縦できるような資産の形成の面を見て、きちんとした計画を立てて頂かなければ、惰性でやってるじゃないですか今は。
- 【事務局】 この計画は都市計画審議会の議を経まして東金市の意見を県の方に申し出をするという形でこの会議を開かせて頂いております。今頂いております意見につきましては、この申し出の中で、東金市の気持ちと意向を十分反映して、今、委員から頂いた意見も今後10年、20年の東金市のまちづくりの中で基本的なものを見直しの中で反映して取り組んでいきたいと考えております。
- 【倉林委員】 資料P.8ですが、今回の見直しで新しく加えられた部分として防災が1つ加えられておりますが、防災拠点と市内各地地域間連携ができるようとかで都市の防災と減災の方針とあります。
- 参考資料では、防災拠点は公共施設及び東千葉メディカルセンター等となっておりますが、これは既に防災拠点としての定めがあって、今後増えていくというものにはならず、定められたものを繋いでいくということなのか、或いは拠点の定義を見直していくと言うのを考えながら、増やしていくとの考えているのか。
- 【事務局】 拠点と言いましても色々な側面がありまして、公共施設の中には市でも防災計画を策定しておりますので、その中の市役所を中心として各地区に公民館、避難場所が設定されています。また、医療の面につきましては東千葉メディカルセンターを頂点としまして、消防などの施設もあります。こちらの部分につきましては、基本、市役所や東千葉メディカルセンターを中心としたところを一つの核にしまして、相互にこれらを支援できるように交通施設整備として都市計画道路等の都市施設、みどりの方針として公園等を配置しながら、それらとの連携も図っていききたいと考えております。全体として防災としての基盤整備、人口配置等もありますのでまちづくりも変化してくるので、これらをまずは中心とした街づくりを進めていききたいと考えております。

【塚瀬委員】 審議会の開催、とりまとめの今後のスケジュール（案）はどのようになっています。

【事務局】 資料 P.15 区域マスの工程の予定を添付させて頂いております。本日市の都市計画審議会で説明させて頂いておりますが、各委員の皆様から内容につきまして様々な側面からのご意見、ご指摘、ご質問を頂きましたが、その内容につきましては確認・整理させて頂き、議事録を配布させて頂きます。頂きました意見を整理しまして、千葉県の方に挙げまして県庁内での調整会議等で議論を経て、3月中に市の意見をまとめまして、4月に千葉県への申し出へと結びつけていければと考えています。その後につきましては5月以降になると思いますが、都市計画法の手続きに移行しまして、11月頃に再度都市計画審議会へ都市計画法に基づく審議をお願いしながら、平成28年2月を目途に都市計画を決定していければと考えております。

【議長】 議長ではなく、商工会議所の会頭として意見させて頂きたい。

都市計画と言いますと今後の東金市の骨格をなすものとなりますが、委員の皆様からも意見が出ましたけれども審議会と言うのは、相当の趣を置かなければいけない。商工会議所一地域の産業会として、今回で都市計画審議会は3回目の出席となります。県から出てきたから考えたというのは役所的であり、議員を含めた地域の意見を吸い上げて、これを反映して県へ東金市は10年先、20年先こうしていきたいと言うべきである。30年前から人口減少は分かっていた。それをどのような形で反映させるのか、そういう面で、この地域をどうするかを審議会の中で議論され、反映していくべきである。

そうした中で、資料を出されて審議するというのはどうなのか。県から来たものを取りあえず通すためのものだと捉えられても仕方ないのでは。人口減少とか言われていますが、税金と市民の幸せをどうするのか。産業振興と言うのは税金である。職場を作る。圏央道ができるのを見越してテクノグリーンパークができたかもしれないが、何十年前の計画なのか。茂原では次の工業団地に着手している。県も動いている。手を挙げて動いた所に予算が配分される。産業界代表としては申し訳ないと思っている。会議所として動いているのは、議会や行政に対して提案できる力をつけるべく、倉林先生をはじめとしたJIUの先生方の力を借りながら、残念ながらまだ提案できるまでには至っていませんが提案できるものを目指しています。

東金を代表する石橋先生や議会の皆様におかれては、我々の代表としてももっともっと頑張ってもらいたい。全て行政が縦割りではなく、横の連絡とって、もっと活力ある街にするにはどうするのかを考えて頂きたい。

例えば、道路のインフラ整備も金がなければ、計画的に10年かかるものを20年かけてやれば良いと思っている。市長に提案できるように私どもも産業界としてやりますが、私が皆様の上司であればもっとげきをとばしてますよ。もっと、目を見開いて、耳を澄まして市民の声、何を言いたいかを探って頂きたい。それがニーズであり、既に表に出ているものはニーズではない。何が必要か、それを探し当てるのがニーズである。産業祭の時に学生さんから成田空港まで行くのに3回乗り継がなければいけないとのことで、羽田空港までは1便でいけると伺った。デマンドタクシーのような考え方も良いが、ぜひ成田空港への運行を考えて頂きたい。

東金市はこの地域のリーダーであるということをもっと自覚をもって進めて頂きたい。

あと、やはりJRへの働きかけである。人の交流があれば、黙っていてもJRが複線化すると思います。20年、30年掛るかもしれないが、基本は都市計画一まちづくりである。

工業団地について、私事になりますが当社では山田IC近辺に物流センターを予定し

ています。あそこは立地条件が最高の場所でありますので、茂原に負けることなく、地元の声を聞きながら外からの誘致を図って頂きたい。ようは税込である。金を生むことを考えて頂きたい。

避難場所について、3. 1 1の時九十九里からどのくらい時間が掛ったのか。有料道路のみで間に合うのか。片貝県道は浅井病院入口で右折待ちにより2～3回信号を待った。九十九里の方から避難してくるのには片貝県道、豊海県道の2路線である。地域と地域を繋ぐのは道路・交通網であって、防災面から考えた時に九十九里ともしっかり話し合っ、そのような面から連携を図り、英知を結集して頂きたい。

地方創生ですが、この地域には何が必要なのか絶えず問題意識を持っていれば、来たら直ぐに手を挙げられる。今、この地域に本当に何が足りないのか、本当に考えているのか。国が補助してくれるから何か考えようではない。

絶えず産業振興、観光などを含めた活力である。人を、市民をやる気にさせること、これの音頭取り。これを進めるためのまちづくり、都市計画を進めて頂きたい。東金は魅力のものはたくさんありますので。商工会議所では東金にあるものを見直しており、なければ作ろうということで進めています。

ここにいる方たちは、この地域のリーダーでありますので、英知を集めれば、もっと素晴らしいまち、都市計画ができるとおもいますのでよろしく願います。

【議長】 これにて審議を終了します。慎重審議ありがとうございました。

【事務局】 慎重審議ありがとうございました。

本日の議事録につきましては、議事録署名人にご署名をいただいた後、委員の皆様はその写しを送付させていただきますので、よろしく願います。

今後の予定ですが、資料P.15をご覧ください。平成27年4月に東金市より千葉県知事へ都市計画（案）としての申し出を行い、その後、千葉県において都市計画法に基づく手続を進めてまいります。手続を進めるにあたり、平成27年11月頃に都市計画審議会に付議させていただき、都市計画審議委員の皆様には審議をお願いしたいと考えております。なお、都市計画の変更告示は平成28年2月頃予定しております。

【事務局】 以上を持ちまして、東金市都市計画審議会を閉会いたします。

本日はお忙しい中でのご出席、ご審議の方ありがとうございました。

以上をもって、午後12時05分に閉会となる。